



令和 5 年度 大竹市地域防災リーダー・ フォローアップ研修会

広島県自主防災アドバイザー
防災士 小松 宏

【komatsu.bousai.mail@gmail.com】

令和5年11月18日（土）

自己紹介			
名前	こまつ ひろし 小松 宏		
出身地	広島市	年齢	43歳
経歴			
2011年11月	防災士取得		
2015年4月	広島県自主防災アドバイザー登録		

本日、私のやること

2

プレゼン

「プレゼンテーション」の略。
(人前で口頭で行う) 提示・
提案。



本日、私のやること

3

presentation

「プレゼンテーション」の略。
(人前で口頭で行う) 提示・
提案。



本日、私のやること

4

presentation

「プレゼンテーション」の略。
(人前で口頭で行う) 提示・
提案。



本日、私のやること

5

プレゼント

贈り物をおくる
ことで、**気づき**
を提供する



- ①ひろしまマイタイムライン
- ②防災リーダー活動のあり方
- ③意見交換会

ひろしまマイタイムライン

ひろしまマイタイムライン作成について

- ① 資料作成について
- ② 当日の流れ
- ③ 反省点、作成者が詰まるポイント、
困った質問
- ④ 作成後について

①資料作成について

「ひろしまマイ・タイムライン」



災害会議・防災対策

7月豪雨による豪雨・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ
 <国民の皆さんへ～大事な命が失われる前に～>

- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません
- 行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。

平成 30 年 7 月豪雨被害を踏まえた 水害・土砂災害からの避難のあり方について (報告) より抜粋



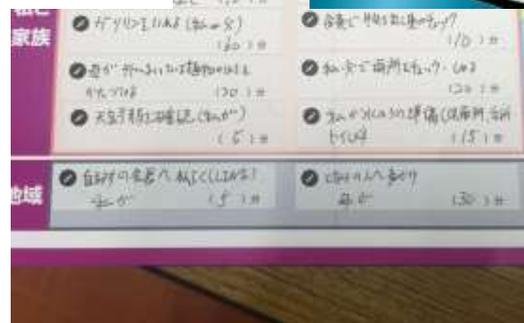
災害からの避難(ひなん)

安全なうちに避難行動をはじめ、そして終える

→災害が起きる前

安全な場所で起きた災害から身を守りながら生活する

→災害が起きた後



①資料作成について

▶ 目的

1. ひろしまマイタイムラインの**作成を体験してもらう**
2. 防災を自分事と考え、災害に対して「**自分の命を守る行動**」について考える
3. 避難について**知り、考える**
 - 多くの人は避難行動を取らない
 - 避難は簡単な事ではない
 - さまざまなバイアス（偏〔かた〕より）の中「避難のスイッチ」を入れる
4. 公助のみに頼りきった防災から、**自助・共助の取り組みの向上や促進**

①資料作成について【工夫した点】

- ▶ 作成する地域に沿った情報を入れる
- ▶ 作成に動画を使用
- ※一度にすべて流すのではなく、
作業ごとに時間を区切って流す
- ▶ 自分で作ったひろしまマイタイムラインの画像を入れる

①資料作成について【工夫した点】

- ▶ 作成する地域に沿った情報を入れる
- ※土砂災害警戒区域・特別警戒区域、洪水、高潮など

従来の砂防堰堤や急傾斜等の工事を目的とせず、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域という2種類の区域を指定し、国民の生命を守るために、必要な施策を行います。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

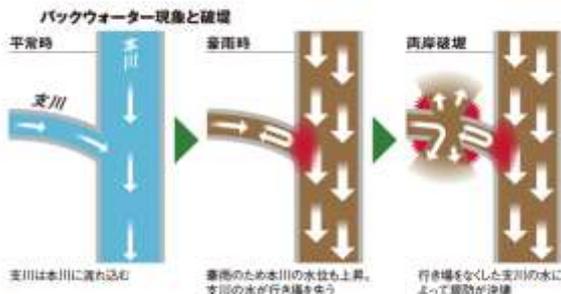
住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

- ・ 土砂災害発生のおそれがある区域を明らかにする
- ・ 警戒避難体制の整備を行う(市町村の義務)

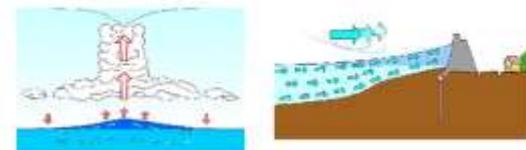
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

- ・ 一定の開発を制限する(審査による許可制)
- ・ 建築物の構造の規制を行う(建築基準法)



高潮の発生には主に二つのメカニズムがあります。一つは大気圧の低下に伴い、海面が吸い上げられるように上昇する「吸い上げ」と呼ばれる現象です。二つ目のメカニズムは、湾口から湾奥に向けて強風が吹き続けることにより、湾の奥に海水が吹き寄せられて海面が上昇する「吹き寄せ」です。この「吹き寄せ」による海面の上昇は、風速が速いほど、湾の長さが長いほど、湾の水深が深いほど大きくなります。



気圧低下による吸い上げ効果のイメージ 風による吹き寄せ効果のイメージ

①資料作成について【工夫した点】

▶作成に動画を使用

※一度にすべて流すのではなく、

作業ごとに時間を区切って流す



マイ・タイムラインをつくらう

ひなん さき きにゆう
② 避難先を記入する



00:01.68



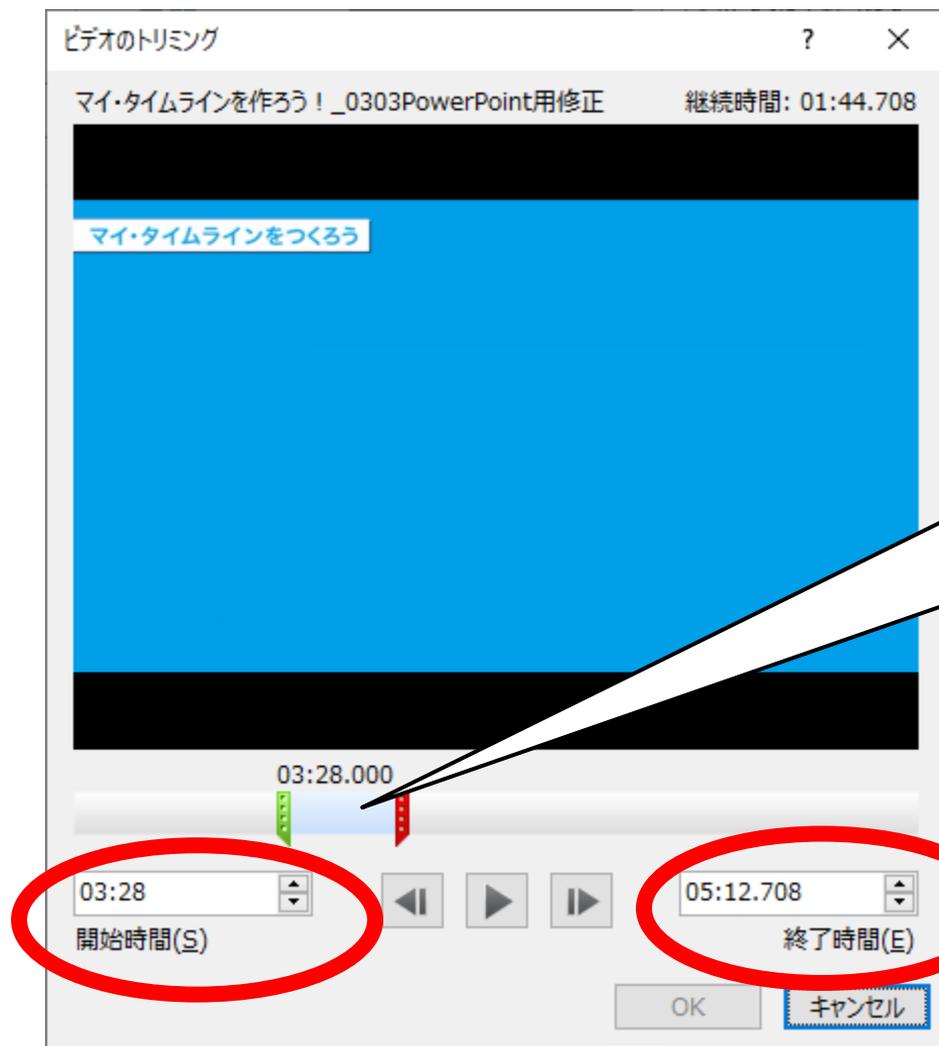
①ビデオの挿入で動画を挿入



②挿入した動画を選択して、ビデオのトリミングをクリック



③動画の開始時間と終了時間を設定する



左右にスライドすることでも設定できる
緑：開始
赤：終了

①資料作成について【工夫した点】

- 自分で作ったひろしまマイタイムラインの画像を入れる

The collage illustrates the integration of a self-created Hiroshima My Time Line into official disaster preparedness materials. The top-left image shows a '防災気象情報' (Disaster Weather Information) screen with a red box highlighting the '高潮' (High Tide) section. The top-middle image shows a '必要な情報' (Necessary Information) table with a red box around the '避難' (Evacuation) section. The top-right image shows a '避難開始' (Evacuation Start) timeline. The bottom-left and bottom-right images show two handwritten '私と家族' (My Family) My Time Line cards, with red boxes around the '避難' (Evacuation) section.

防災気象情報

必要な情報

大雨に関する気象情報

風に関する気象情報

高潮に関する気象情報

河川の氾濫に関する情報

土砂災害に関する気象情報

必要な情報

避難

避難開始

避難開始 (公-5分)

避難開始 (私-5分)

私と家族

避難

私と家族

避難

②当日のながれ

1. 自己紹介
2. マイタイムラインについて
3. 作成資料の確認
4. 令和3年に変わった情報の紹介
(避難情報の変更、顕著な大雨に関する情報)
5. 作成するマイタイムライン
(台風)
6. ハザードマップの確認
7. 避難先
8. 避難のタイミング
9. 避難開始までの準備・時間
10. 地域に対する行動
11. マイタイムライン作成の
チェックポイント
12. マイタイムライン使用時の
注意点
13. シートごとの作成ポイント
14. まとめ

②当日のながれ【避難先】

1. 避難先を2つ記入
2. 避難経路を考える
3. 避難方法を考える

動画を使ってイメージしてもらおう

②当日のながれ

【避難開始までの準備・時間】

1. どのような準備が必要
2. 誰が準備する
3. どのぐらい時間がかかる

- 参考となるものを提供
(冊子やカバー裏、自分の作成した画像)

- 自分のことを話す

※自分の家族【私、父、母、妹】

③反省点

- ▶ 予定時間をオーバーしてしまう

1時間で行う→大体1時間10分から1時間30分

- ▶ 時間配分がうまくいかない

話が脱線してしまう

思わぬ質問について、話過ぎてしまう

- ▶ 最後が足早になってしまう

③作成者が詰まるポイント

▶ **避難先が1つしかない。考えていない。**

● 避難先の例を話す。

(地域内指定の避難場所だけでなく、親戚や家族の家、近隣のホテル、近所の家、地域外でも近い避難場所、車などで近所のスーパーなどの立体駐車場などなど・・・)

● 今すぐ考えるのではなく、これから準備すればいいことを伝える。

③ 困った質問

- ▶ ハザードマップで自宅は白い場所にあるのにマイタイムラインを作る必要があるのか？
- ハザードマップは安全マップではない。
- 被災した人々の声に「想定外」という声をよく耳にする
- レッドゾーン、イエローゾーンでなくとも被災することはある。
- 災害は想定をこえておきる。
- 地域が被災した場合は直接災害による被害がなくても、被災地域では生活には困るのでは？
- 防災において「備える」ことは重要なのに、リスクはないから「備えない」と言っていることにならないか？

③ 困った質問

▶ 準備を書けといわれても、どのような災害が予測されていないから書けない

●何も準備しないのですか？

→そんなことはない。

●台風が近づいている時に、実際行っている準備書いてみては？

→台風の強さがわからないから書けない。

●家族の方と話していることを書いて見ては？

→嫁さんが何をするかわからない。

【この場に来る前にすることがあるのでは……（言いたかったです）】

→最終的に準備の部分へはシールが貼ってなかったです。

④作成後について

- ◆ ひろしまマイタイムライン作成は
「災害を自分事として考える」ワークショップ
としては良い素材だと思う
- **自助の向上**
- ◆ 家族で防災を考える**きっかけ**になるのでは？
- **共助**の向上へつなげてみてはどうか？

ひろしまマイタイムライン資料

▶ 広島県 ひろしまマイタイムライン

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/mytimeline/>



▶ 大竹市 ひろしまマイタイムライン

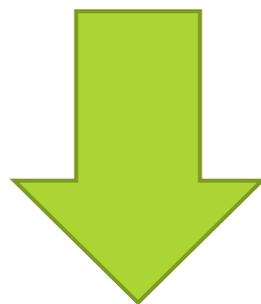
<https://www.city.otake.hiroshima.jp/soshiki/somu/kiki-kanri/gyoumukiki/5/mytimeline/5846.html>

防災リーダー活動のあり方

大竹市で防災リーダーに期待されていること

「**防災リーダー**」が**活動・活躍**して、
大竹市全域の地域防災力の向上を
実現する

大竹市の防災力向上



「災害死ゼロ」を
実現し続ける大竹市にする

大竹市で防災リーダーに期待されている役割

- 地域での**リーダーシップ**の発揮
- 地域防災活動の**マネジメント**

リーダーシップとマネジメント

- **リーダーシップ**

 **行く先を指し示す 方針を出す**

- **マネジメント**

 **完成へと導く**

②リーダーシップをとる コツ

リーダーシップをとるコツ

33

①リーダーという立場を最大限利用しよう

⑥役割を分担しよう

②楽しく活動しよう

⑤地域防災に参加する人を育てよう

**リーダー
シップを
とるために！**

③仲間（3人程度の協力者）を作ろう

④地域住民とコミュニケーションを図ろう

①リーダーという立場を最大限利用しよう

34

- 地域に認められた「地域防災リーダー」ということの認識と
自信を持つ
- リーダーの立場を**最大限利用**することを考える

<例えば...>

【地域の住民に対して】

- ・ 防災活動等への参加を積極的に声をかける

【行政や他の地域組織に対して】

- ・ 組織同士という立場で話し合いや協力を依頼する

リーダー
だからこそ
できること！



②楽しく活動を進めよう

- 活動が活発な団体には、みんなが**楽しんで活動している**事例が少ない

- 楽しく活動することにより...

- ✓ 活動の達成が得られ、次の活動への意欲がわく
- ✓ 参加する住民の輪が広がる

- 「**楽しく**」をキーワードに活動していくことを考えてみる

- ✓ 地域のイベントを活用して「防災」を入れ込む
- ✓ コンクール、ゲーム、映画会など訓練やイベントを楽しめる工夫を取り入れる

35

防災



楽しむ工夫



②楽しく活動を進めよう

<例えば...>

- ✓ 地域のイベントで食事の提供を行う際に、災害時に使用する給食用の機材や食材を使ってみる

 - ✓ このような取り組みで以下のような効果がある
 - 資機材の操作が習得できる
 - 資機材の動作点検ができる
 - 災害時の食事がどんなものかわかる
 - 備蓄品の管理状況が把握できる
 - 資機材点検だけのための時間が節約できる
- 等々

②楽しく活動を進めよう

平常時に楽しく活動している事例（1）

37

◆加古川グリーンシティ防災会(兵庫県加古川市)

【第10回防災まちづくり大賞総務大臣賞(一般部門)受賞(平成17年度)】

● 具体的な活動

- ✓ **炊き出し訓練**を兼ねた楽しいイベントの実施

夏祭りでの「イカ焼き機」を使った食べ物の提供や「ふれあい餅つき大会」の実施

- ✓ 楽しいイベントでの子どもと防災会の交流

子供に防災会の人顔を覚えてもらうために、サッカーワールドカップの「パブリックビューイング」やマンション内を子どもと一緒に夜回りする「防災パトロール隊」などの子どもが楽しめるイベントの実施



イカ焼き機
(様々な食材を素早く焼くことができる調理器具)

参考資料：総務省消防庁「自主防災組織の手引」（平成23年3月改訂版）

②楽しく活動を進めよう

平常時に楽しく活動している事例（2）

38

◆泉町三丁目地区連合自治防災会 （東京都国分寺市）

【第13回防災まちづくり大賞消防庁長官賞受賞(平成20年度)】

● 具体的な活動

- ✓ 防災訓練にコンクール形式を取り入れた「**防災コンクール**」

3人1組で様々な防災技能をコンクール形式で競い合うことで、楽しく、スポーツ競技のように防災訓練に参加することができる

- ✓ 子どもが参加したくなるイベントと併せた「**親子防災映画会**」

子ども向けの映画会を開催し、会場内で、消防署が煙体験コーナーなどを設置、子どもに体験してもらい、防災への関心を高める。



防災コンクールの様子

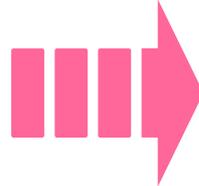
参考資料：総務省消防庁
「自主防災組織の手引」
(平成23年3月改訂版)

③仲間を作ろう（3人程度の協力者）

39

×

リーダー一人で、
組織運営や災害対策活動の指揮を行うのは、負担が大きく、無理



○

組織運営で協力してもらえる**仲間**（3人程度の協力者＝**役員的な立場**）を作ることが重要

仲間がいることで、

平常時には、
組織運営や活動の指示などで相談や役割分担ができる

災害時には、
リーダー不在時でも、代わりに地域の防災活動の指示ができる



仲間の中に女性の
参画を！

④地域住民とコミュニケーションを図ろう

40

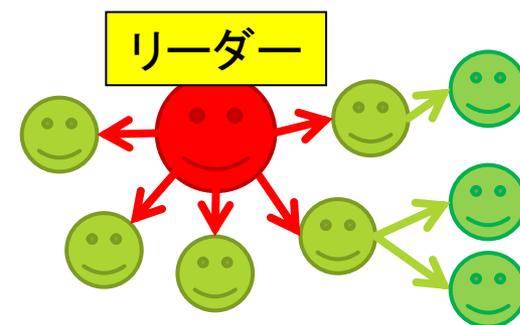
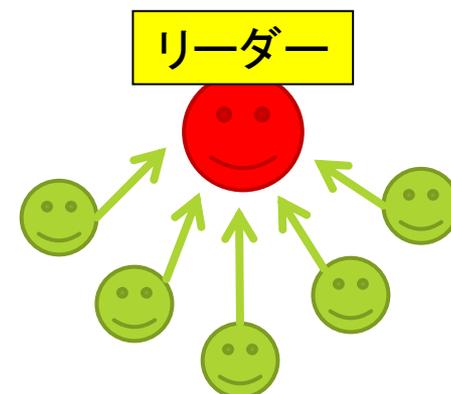
● 平常時から「地域に『顔』を売っておく」

- ✓ 地域住民に自分が地域防災リーダーであることを知ってもらおう

- ・ リーダーは全住民を知ることは不可能だが、全住民がリーダーはだれか理解することは可能

- ✓ 地域住民を知ることで、地域の人的なネットワークを広げる

- ・ 地域の活動では「顔の見える関係」が重要！
- ・ 活動する上で役立つ資格やスキルを持った人材を探しやすくなる



⑤地域防災に参加する人を育てよう

41

- 楽しい訓練やイベントを企画し、まずは地域住民に防災活動へ参加してもらい、防災への**関心を高めてもらう**ことが必要
- 参加した住民に積極的に声をかけ、地域防災活動への**継続的な参加・協力**を促す



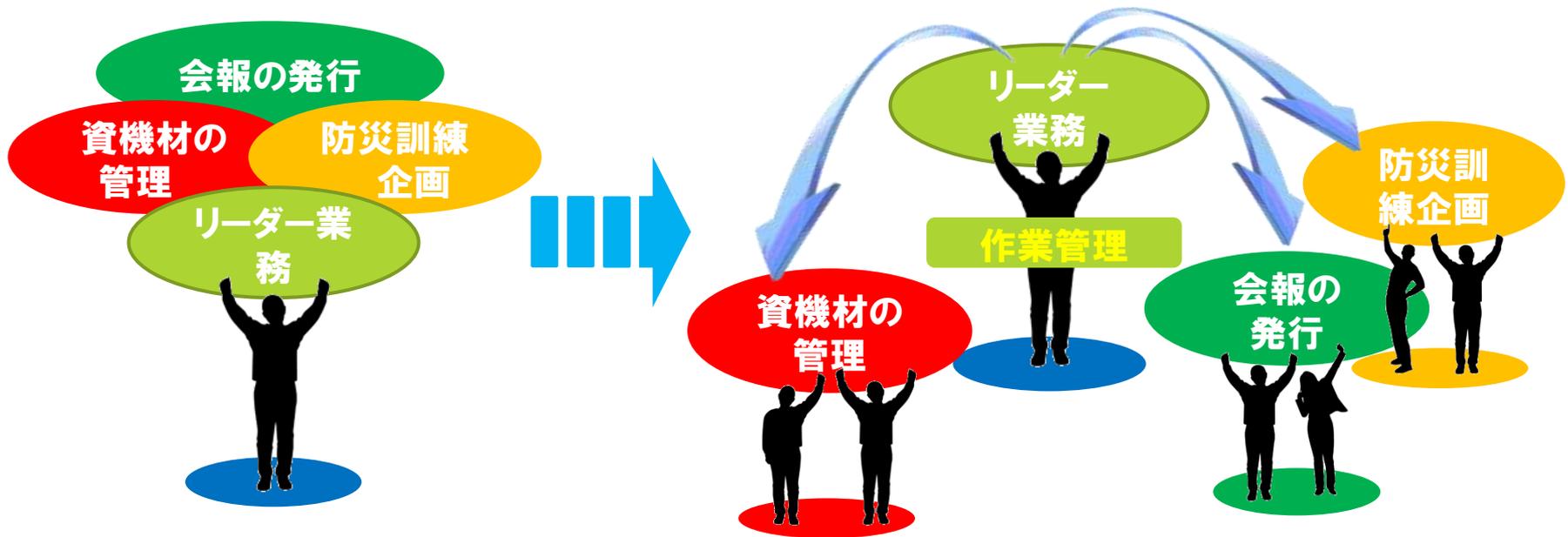
こうしたことを繰り返し、地域の防災活動の必要性を理解し、**活動してくれる住民**を多く育成

⑥役割を分担しよう

42

● 他人に積極的に任せる

- ✓ 任せた作業の進捗などの管理はしっかり行う
- ✓ 役割分担する際は、**責任と権限を与える**



こうして育成した人材から、**次の世代の地域防災リーダーの候補**を見つけることも重要！

リーダーシップをとるコツ

43

①リーダーという立場を最大限利用しよう

⑥役割を分担しよう

②楽しく活動しよう

⑤地域防災に参加する人を育てよう

**リーダー
シップを
とるために！**

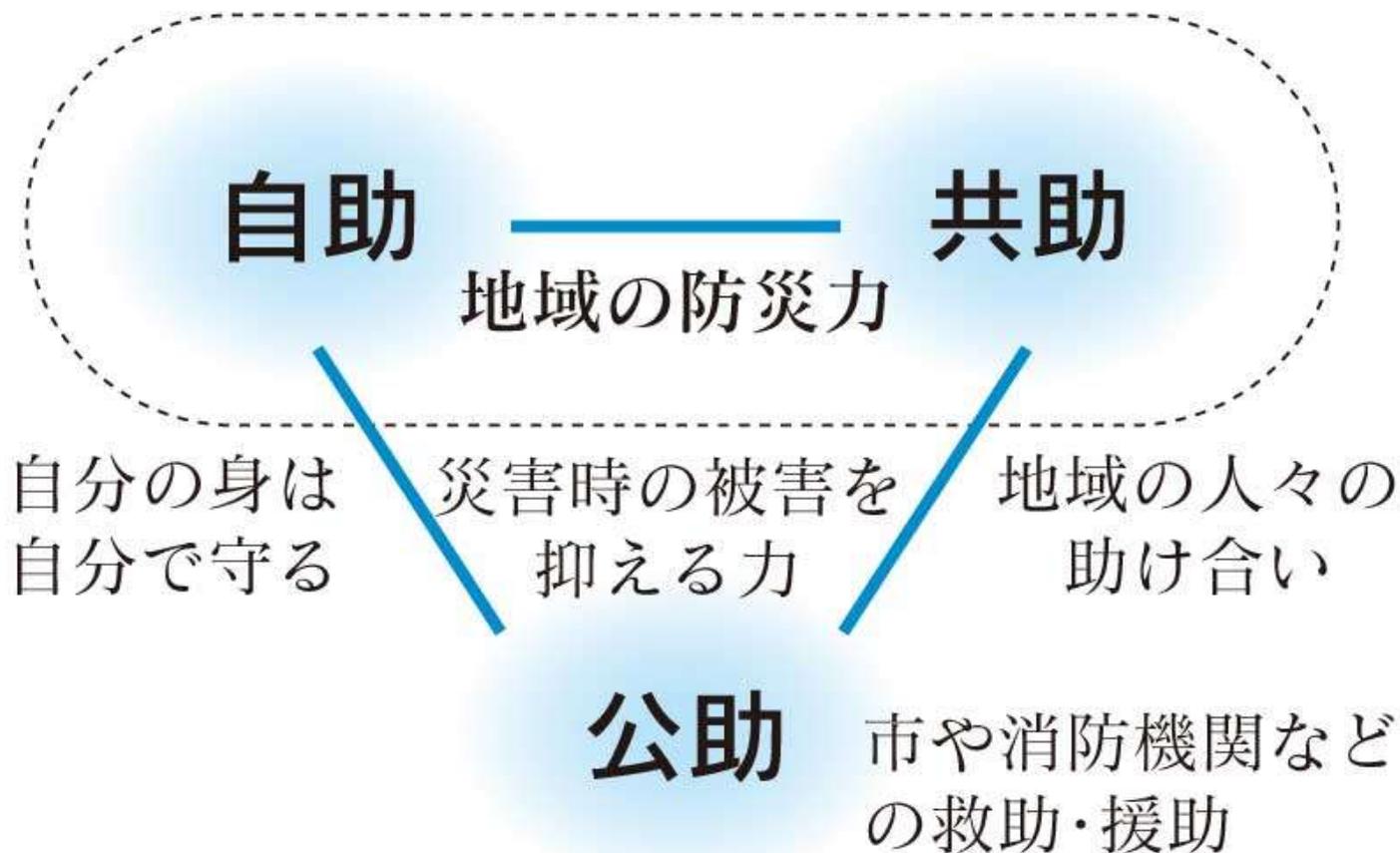
③仲間（3人程度の協力者）を作ろう

④地域住民とコミュニケーションを図ろう

③ マネジメントに ついて

マネージメントについて

45



バランスよく充実することが大切！

マネジメントに必要なスキル

- ① 現状の分析力
- ② 組織化能力
- ③ コントロール力
- ④ 意思決定力
- ⑤ 問題解決力
- ⑥ コーチング力（コミュニケーション能力）

マネジメントに必要なスキル

- ① 現状の分析力
- ② 組織化能力
- ③ コントロール力
- ④ 意思決定力
- ⑤ 問題解決力
- ⑥ **コーチング力（コミュニケーション能力）**

コーチング

ティーチング

コーチングとティーチング

コーチング

伴走者(ともに歩む)



ティーチング

先生(教える)



リーダーシップ

マネージメント

リーダーシップとマネージメント

リーダーシップ

目指すべきものを決め、先頭を歩く

マネージメント

**到着するまでの管理・支援を
何度も続ける**

リーダーシップとマネージメント

リーダーシップ

変化を学び続ける

マネージメント

やり方・ノウハウを学び続ける

リーダーシップとマネジメントを実践する
為に必ず必要なこと

知ること

- ・ 人のこと
 - ・ 地域のこと →
 - ・
 - ・
- 地域防災活動をする
ために
「必要なことすべて」

防災イベントを成功させるために 押さえておきたい、企画のコツ

1. 大人も参加できる内容にする
2. 興味を引きつける、楽しい内容を取り入れる
3. 参加のハードルを下げる
4. 防災知識がしっかり学べる
5. 分かりやすい内容にする
6. 継続しておこなう
7. 地域の防災情報を盛り込む

④防災リーダーの悩み

防災士状況報告1割

広島市が公費で養成提出は任意

2014年8月の広島市防災士養成している防災士のうち、市の求めに応じて活動報告をした人が近年は1割にとどまっている。市は取得費用を無料にして後押しし、防災士になったのは1400人を超える。ただ、その大半の活動実態をつかんでいない状況にある。(下高亮生)

市の養成事業は被災型「教本代や受験費用など費」1人6万円程度とされる。15年度に始まった。格取得に必要な費用は1人が、市の事業では自己負担



担はない。近年は20年度101人、21年度185人、22年度249人が資格を取った。市は防災士になった人

に対し最初の3年間を自由に年1回、定型の書式

に従って活動状況を報告するよう求めている。提出したのは近年は年50人前後で、22年度分は52人だった。20、22年度に防災士になった計ら335人である。提出率は1割を下回っている。

市災害予防課は、活動報告を求める理由について「優れた取り組みの事例を集め、他の防災士に紹介するため」と説明する。一方で、提出者数が

「何をしたいかわからない」

2014年の広島市防災士養成。開いた水がしずきを上げて川を機に、広島市が力を入れてきた防災士の養成事業。資格取得の費用を公費で賄う事業でありながら、防災士になった人が実際にどんな活動をしているのかわからない。実態を遡ると、個人によって活動に濃淡のある状況が浮かぶ。

山本学区では広島市防災士2人が主となり、古くは大正末期の1926年の土石流で24人が犠牲になっている。映像は住民たちから集めた動画や写真を編集し、自治会の集まりや防災講演会で放映してきた。

だが、こうした積極的な取り組みが広がっているとも言えないデータがある。防災士の資格を認証する日本防災士機構の22年度のアンケートによると、制度を始めた約3年度から約5年間に資格を取った約1万人のうち50・7%が現在は防災士としての活動をしていない。

個人で濃淡 活動ゼロも



2021年8月の大雨の被害をまとめた映像を説明する市川さん(左)

専門家「受け皿整備を」

西日本豪雨後に防災士になった安芸区の男性(46)は「役に立っていない気持ちはあるが、場がない」。同区の別の男性(46)も「仲間がおらず、何をしたいかわからない」と打ち明ける。防災士の活動を後押ししようとする自治体などが機会を提供するケースもある。佐伯市の石内北エリアの自治会と自主防災会のは7月下旬、入出の多い夏祭りの開始前に「防災ひろば」を開いた。地元の防災士6人が子どもにハザードマップを教え、防災紙芝居を眺め聞かせた。

市内の他の防災士たちのアドバイスを受け、企画した。自らも防災士の木村正信会長(69)は「地区には子どもが多かった。地元の仕事をつくりかかった。地域の事情と防災の知識の双方を把握している人材は大きな頼りになる」と期待する。

広島経済大の松井一洋名誉教授(災害情報学)は「資格を取得した人と、防災の学びを授ける学校や地域を引き合わせるなど、活動の受け皿をつくる」ことが重要になると指摘する。(下高亮生)

クリニック

防災士NPO法人の日本防災士機構(東京)が認定する民間資格。2003年度に始まった。自治体や大学が「研修機関」になり、研修を終えた後の試験に合格して所定の講習を受ければ資格が得られる。同機構によると、資格取得者は7月末現在で全国約26万人、広島県約6千人。

少ない現状に關しては「あくまで提出は任意。強制するものではない」と繰り返す。

市は養成事業に年約400万円を充て、市内の自主防災組織の数に相当する約1900人の養成を目標にする。資格取得後おおむね3年間は地元での活動を求めている。

京王線刺傷で 懲役23年確定

双方提訴せず

2021年10月、走行中の京王線特急電車で乗客をナイフで刺し、車両に火を付けたとして殺人未遂や現住建造物等放火などの罪に問われた無職男性(29)の裁判。懲役23年を言い渡した東京地裁立川支部判決が17日までに確定した。7月31日の判決に対し、検察側、弁護側双方が期限の8月14日まで控訴しなかった。

判決によると、21年10

防災リーダーの悩み

- **何をしているかわからない！**
- **活躍する場がない！**

防災士ないたての頃(2011年～)

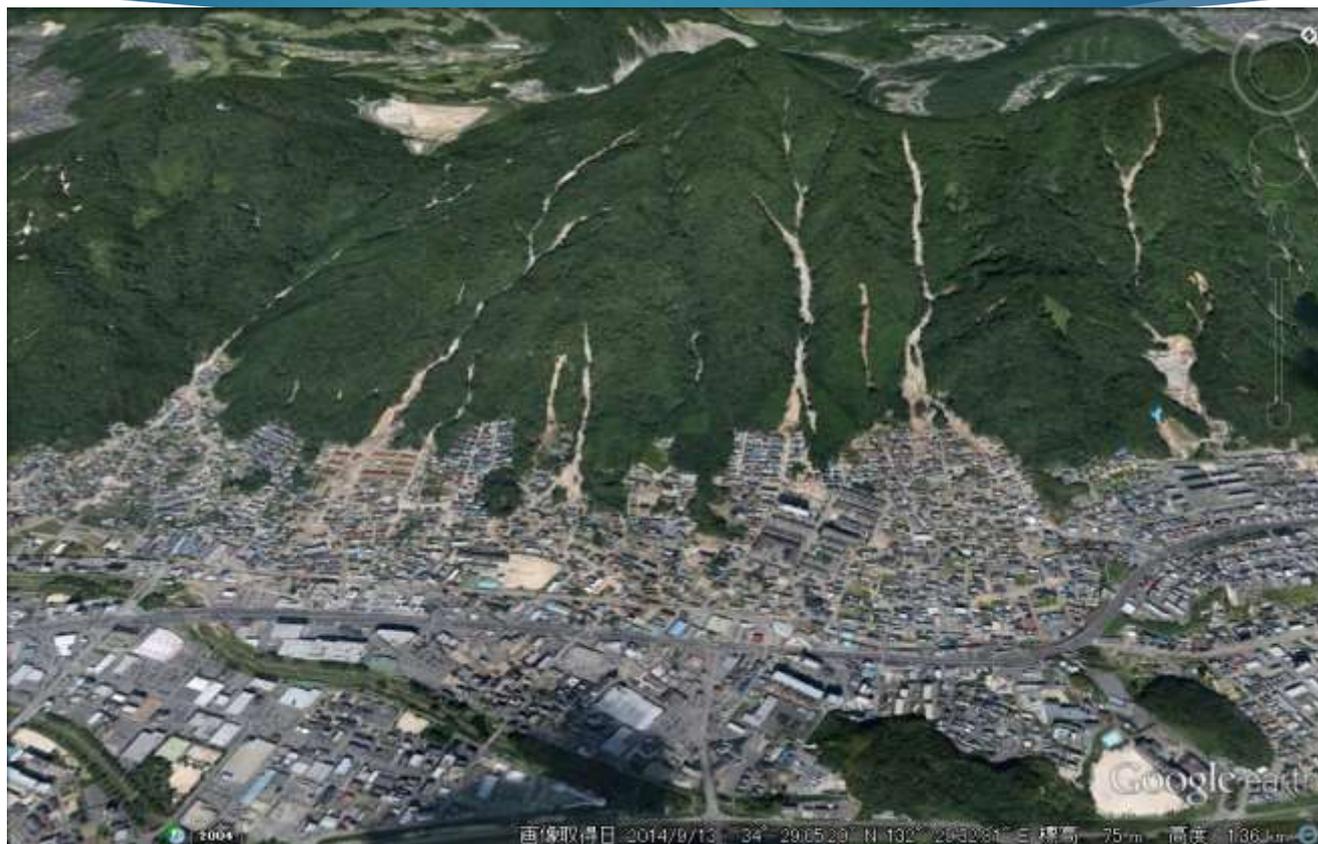
58

- 避難訓練
- 避難所の運営マニュアルの検証修正
- 土のうの訓練瓦礫からの救助訓練
- DIG
- HAG など

災害対応

8月20日広島豪雨災害 (2014年)

59



被災時に行った事(2014年)

- 安否確認
- 被害状況の確認
- 避難所運営
- ボランティア受け入れ
- 復旧作業 など

災害からの復旧

最近の活動

- 自主防災組織の活性化
- ハザードマップの見かた
- わがまち防災マップの作成
- 要支援者避難について
- 避難の呼びかけ体制
- ひろしまマイタイムライン
- 避難情報の変化や取得の仕方 など

事前防災

防災リーダーのミッション

仲間づくり

大竹市の防災力向上を目指し、
「災害死ゼロ」を実現できる仲間づくりをする。

リーダーのパターン(小松の主観)

- 社長型
- 取締役型
- 社員型
- 新入社員型
- 独立型
- 一匹オオカミ型
- ネットワーク型
- 地蔵型

「避難の呼びかけ体制づくり」



自主防災組織による 避難の呼びかけ体制づくりマニュアル



広島県

避難の呼びかけ体制づくりに向けて

1. 避難の呼びかけ体制とは

「避難の呼びかけ体制」は、住民に早めの避難を促すため、呼びかけを開始するタイミングや呼びかけ方法などのルールを決めて、自主防災組織が大雨災害に対して効率的で効果的な呼びかけを行う仕組みです。

自身の組織にあった呼びかけ体制をつくるには、起こりうる災害や組織体系、地域の状況などを考慮して、ルールを決めていく必要があります。

2. 体制づくりのプロセス

呼びかけ体制づくりは、次に示す5つのステップを基本として進めていきます。



自主防災組織のこれまでの活動において、すでに実践している項目がある場合は、次のステップに進んでください。また、Step 2と Step 3を同日に行うなど、各ステップを組み合わせることも可能です。



◆避難の呼びかけ体制（抜粋）

避難情報の入手方法	尾道市安全・安心メール/テレビ	
順番	会長→副会長→副書記他→班長→班員	
担当者不在時の対応	次席の役員が順に対応	
タイミング	警戒レベル3	警戒レベル4
範囲	全世界	
優先度	災害想定区域内およびその周辺の班員	夜間は班長まで伝達

出典【広島県 「自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル」を作成しました】

地域防災タイムライン

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク ・ハザードマップ上で自宅周辺に色が塗られている場合は、口に“✓”してください。

土砂災害 洪水 ため池決壊  ため池マップ

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

飲料水(1日1人3リットル×3日) 防寒具・7分プランケット
 食料(人数×3日) ガムテープ・軍手(人数分)
 EM・モバイルバッテリー 靴・スリッパ 簡易トイレ
 携帯ラジオ ホイッスル 救急セット

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照

情報収集ツール

気象情報 テレビ・ラジオ 防災行政無線
 避難情報の収集 防災メール 防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要な人(高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊婦など)
 いる 警戒レベル3 高齢者等避難で避難
 いない 警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所

・避難先は2つ以上確保しておきましょう。
 ・安全な場所にある、親戚・知人宅やホテルなども避難先になります。

と

地域防災タイムライン
(サンプル) **〇〇自主防災会**

この地域では、大雨が降った際に、


 土石流・がけ崩れ 洪水 ため池決壊

が発生する危険があります。

**災害が起こる可能性が高い時には、
ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。**

ここが大事！ 明るいうちに 家族やご近所と声をかけあって避難



特に、高齢者等には警戒レベル3で声かけを

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～

避難する際の声掛け先 例) 電話・戸別訪問など

氏名	連絡方法
氏名	連絡方法

地域防災タイムライン

個人の避難行動に関する内容

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク ▶ ハザードマップ上で自宅周辺に色が塗られている場合は、口に“✓”してください。

土砂災害 洪水 ため池決壊 ▲ ため池マップ

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

飲料水(1日1人3リットル×3日) 防寒具・アルミブランケット
 食料(人数×3日) ガムテープ・軍手(人数分)
 モバイルバッテリー 靴・スリッパ 簡易トイレ
 携帯ラジオ ホイッスル 救急セット

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照▶

情報収集ツール

気象情報 テレビ・ラジオ 防災行政無線
避難情報の収集 防災メール 防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要な人 いる 警戒レベル3 高齢者等避難で避難
(高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊婦など) いない 警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所

▶ 避難先は2つ以上確保しておきましょう。
▶ 安全な場所にある、親戚・知人宅やホテルなども避難先になります。

と

地域防災タイムライン

地域防災タイムライン
(サンプル) **〇〇自主防災会**

この地域では、大雨が降った際に、



土石流が崩れ 洪水 ため池決壊
が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、
**ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。**

ここが大事! 明るいうちに 家族やご近所と声をかけあって避難
避難



特に、高齢者等には警戒レベル3で声かけを

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～

避難する際の声掛け先 (例) 電話・戸別訪問など

氏名	連絡方法
氏名	連絡方法



**災害時の
地域住民相互での
声掛けに関する内容**

広島市防災士ネットワーク

68



広島市防災士ネットワーク

69



ポンキョウキャラバン



消してけるポ
ン

ドレミキャラバン



おにぎりキャラバン



カードゲーム
「ぼうさいキング」

鯉ちゃんキャラバン



鯉ちゃん救出大作戦

こころのキャラバン



鯉ちゃん救出大作戦

鯉ちゃんキャラバン



鯉ちゃん救出大作戦

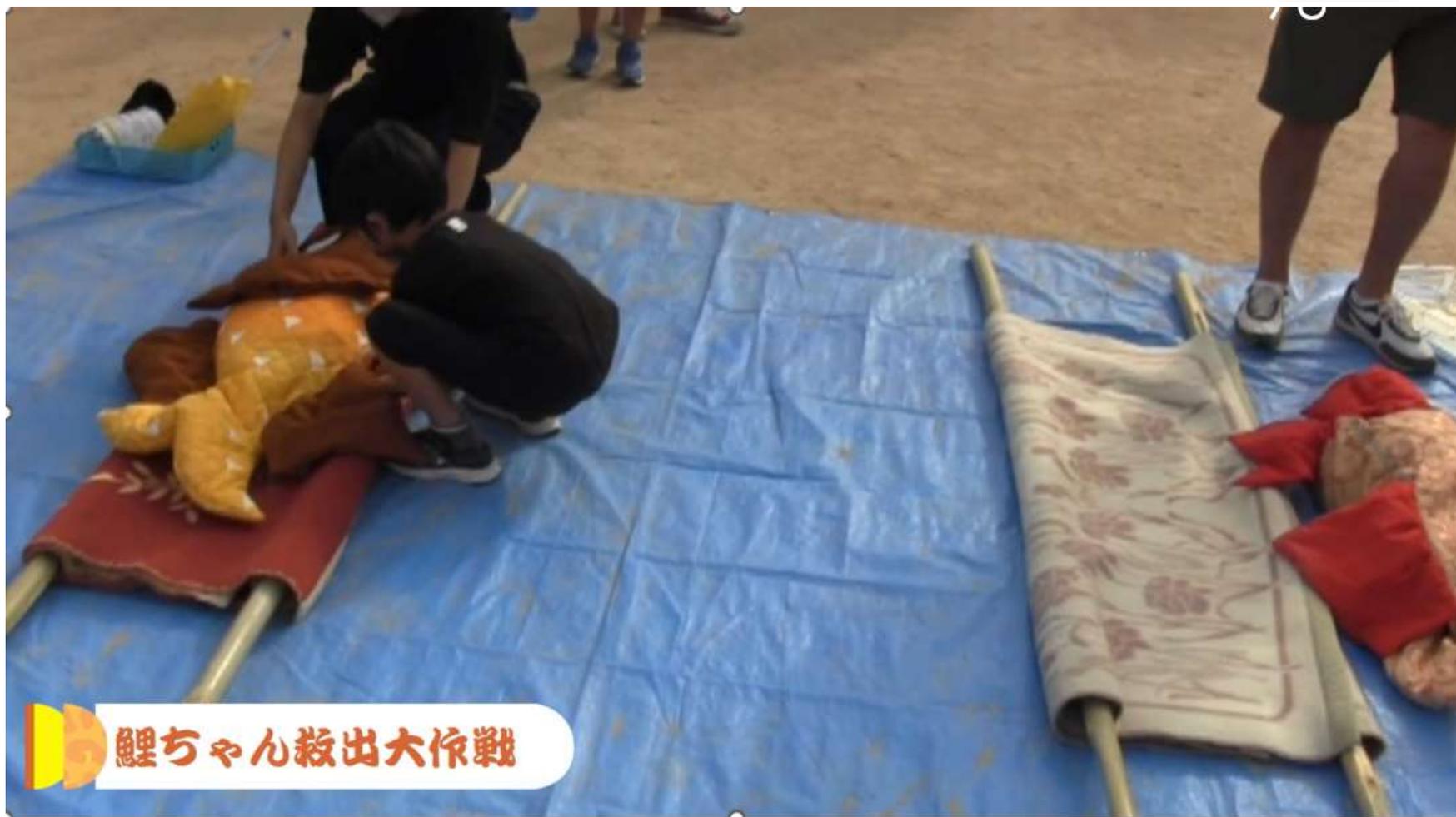
おもちゃの交換会



おもちゃの交換会

おもちゃキャラバン





鯉ちゃん救出大作戦



00:01.71



防災リーダーの役割

平常時

災害発生

災害時

平常時

- 地域を知る
- 住民の自助の推進
- 自主防災組織の計画・実行
- 災害のための備え
- とともに防災活動を行う仲間を作る。育成する。
- 受援力の強化

災害時

- 住民の安否確認
- 地域の被害状況の調査・把握
- 周囲に声をかけ、災害対策活動に協力を求める
- 応急対策活動や避難所運営、地域の復興の進め方など防災活動に関する知識や知恵を活用する

受援力とは？

「助けを受け入れ、 人に頼ることができ る力」のこと

出典：受援力ノススメ - 内閣府防災担当

URL

【http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentakai/hina_nzyokakuho/wg_situ/pdf/dai3kaisankou5.pdf】



出典：地域の『受援力
(じゅえんりょく)』を高め
るために - 内閣府

URL

【<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/bousai-vol/product/juenryoku/index.html>】



力を貸して助ける力

→ **支援力** (しえんいよく)

「助けて」と言える、支援を上手に受ける力

→ **受援力** (じゅえんいよく)

支援を勢いよく地域に届ける、結びつける力

→ **活援力** (かつえんいよく)

日頃から高めておく

- 活動し続ける
- 学び続ける

- 責任

他人から押し付けられるもの

- 責任感

自ら責任を感じることに

意見交換会

「ワールドカフェ」とは

- ▶ 会議室で日々繰り返される機能的な会議よりも、「カフェ」で行なうような、オープンで自由な会話を通してこそ、**生き生きとした意見の交換**や、**新たな発想の誕生**が期待できる、という 考え方に基づいた話し合いの手法

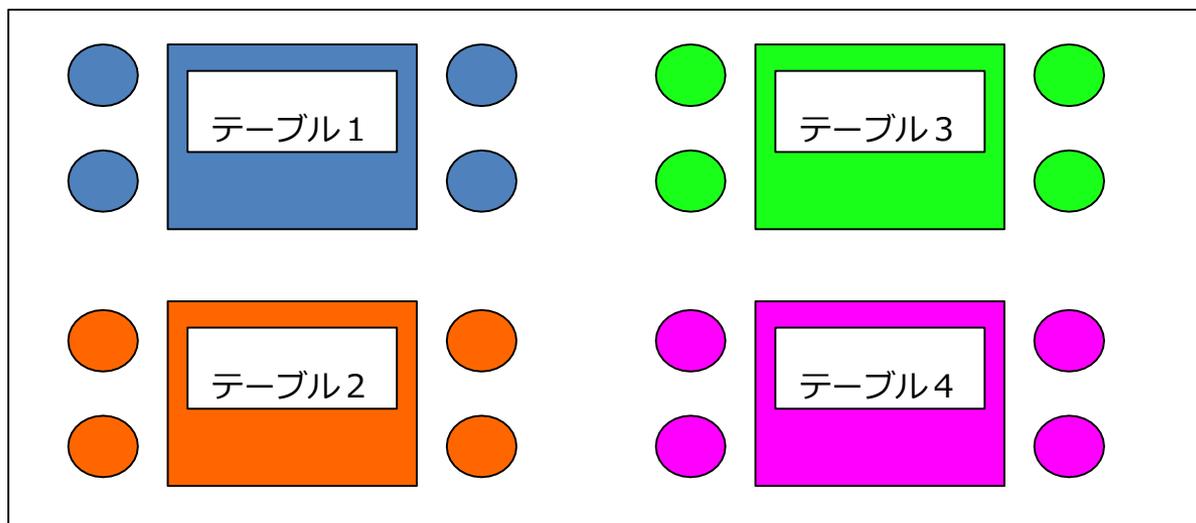
「ワールド・カフェ」の進め方

- カフェスタイルのテーブルに4人で座る
- ※ 4人は「聞く」「話す」のバランスが最も良い
- 20分～30分の会話を3ラウンド行い、各ラウンドでメンバーを入れ替える
 - 意見・アイデアはポストイットに書き、テーブルの上に広げてある模造紙に、貼り付けます



ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ①グループごとに座る※4名がバランスが良い



ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ②議題に関して意見を模造紙に書き込む

議題



意見①

意見②

意見③

意見④

ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ③ カフェマスターは全員の意見をまとめる

議題

※まとめた意見を追加するしたりする

意見①

意見②

追加意見



ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ④ カフェマスター以外はまとめた意見をメモする

議題

意見①

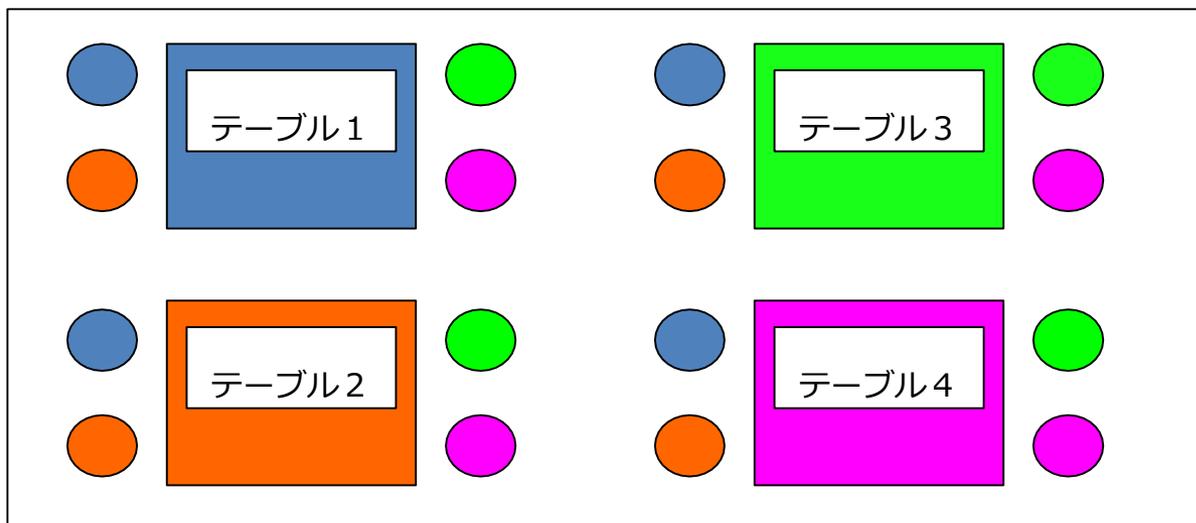
意見②

追加意見



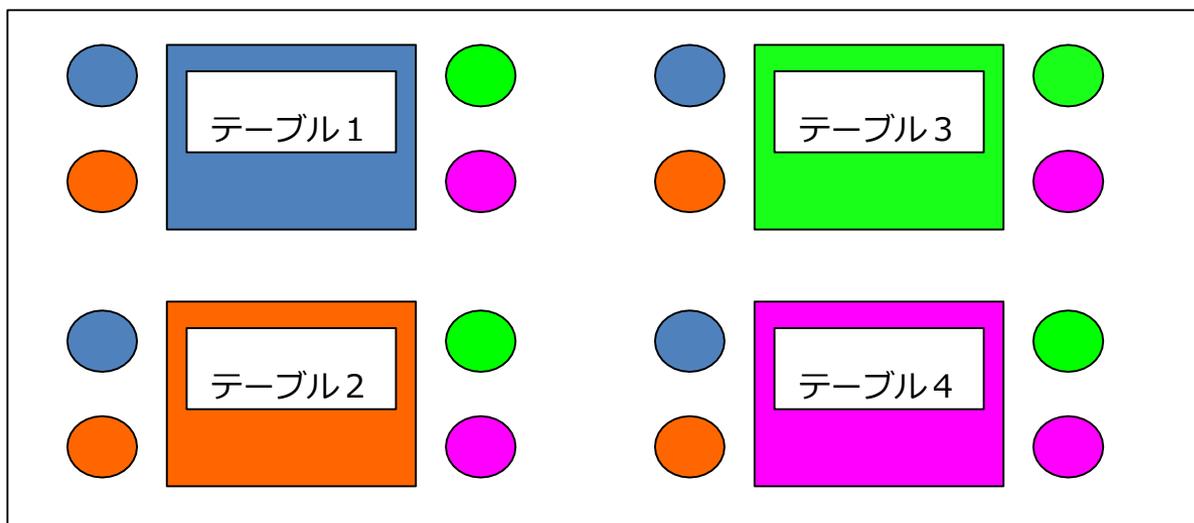
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑤ 「カフェマスター」をテーブルに残して、他の人は、他のテーブルに移動します



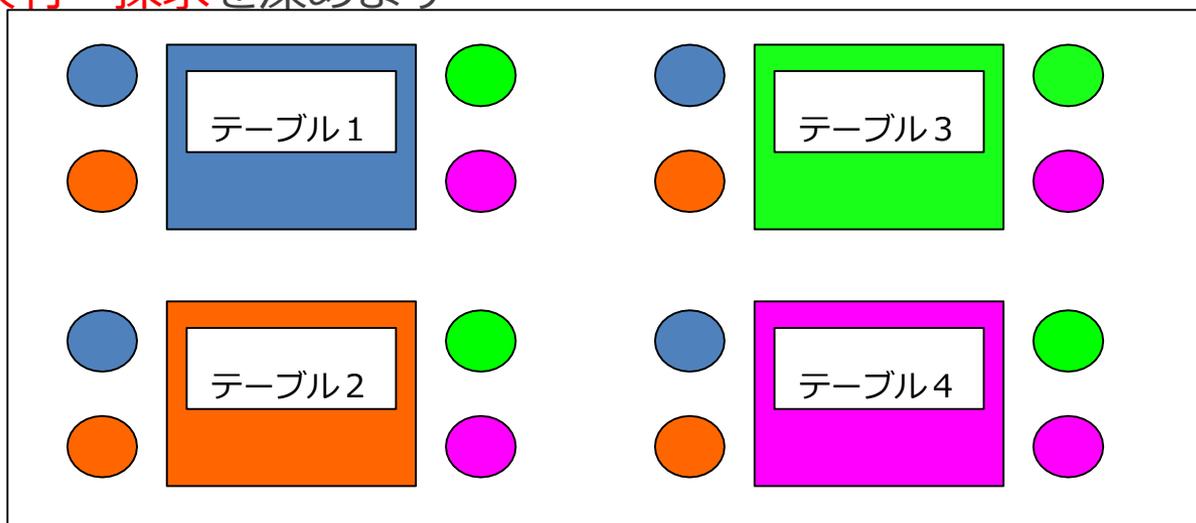
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑥新たにできたグループで簡単な自己紹介をする



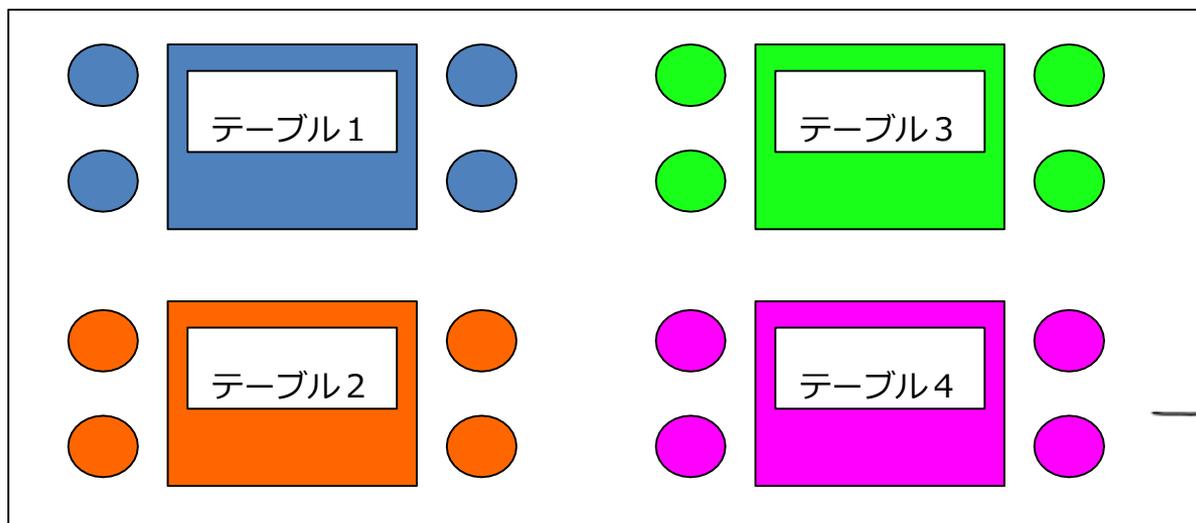
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑦「カフェマスター」は、**どんな話があったか**を、そのテーブルに来てくれた人と**共有**し、それを聞いた方も自分の**グループの内容を述べて**、**共有・探求**を深めます



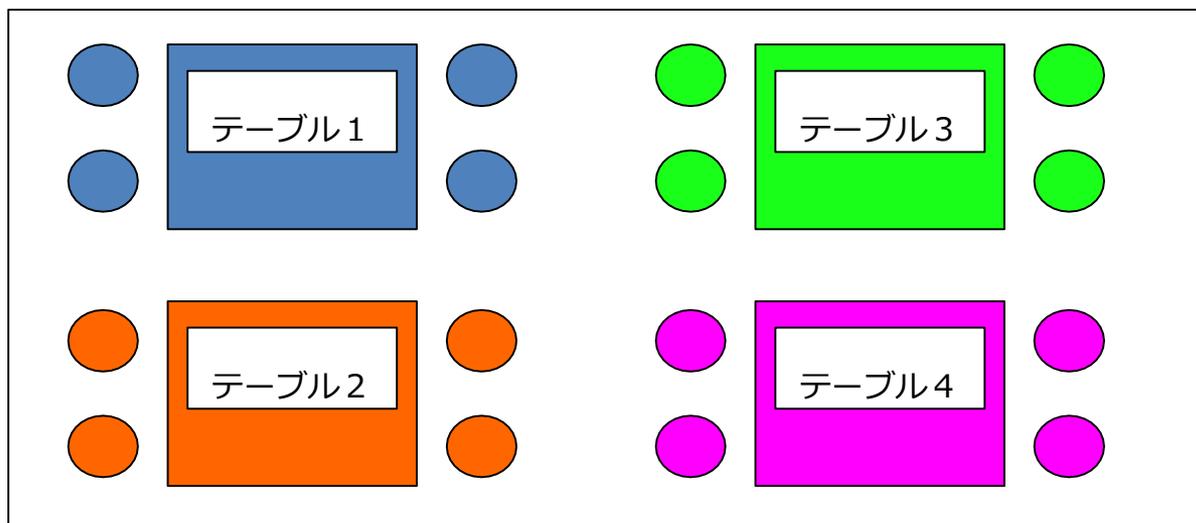
ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑧新たに発見した意見をメモする



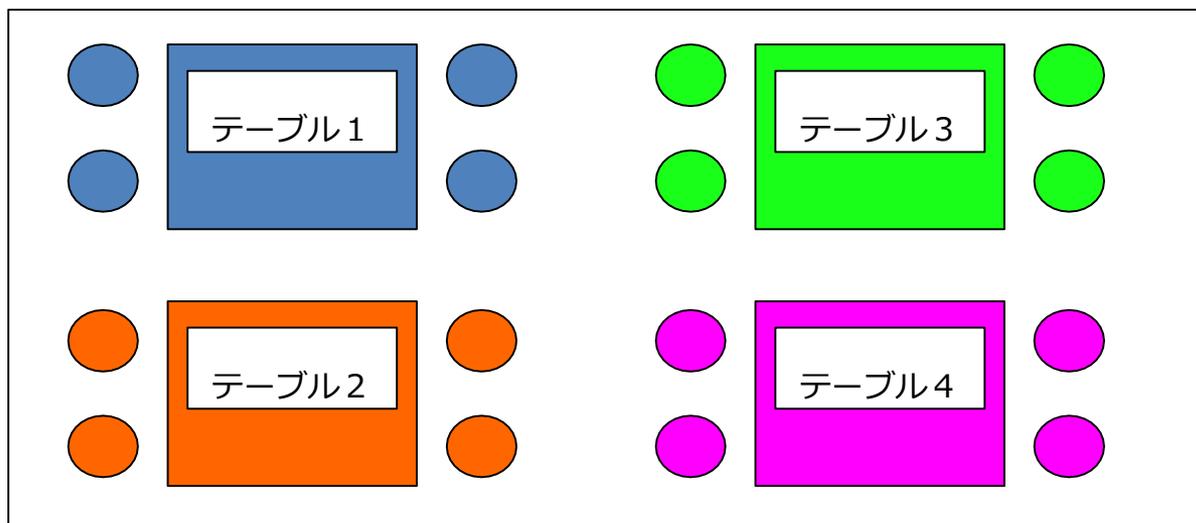
ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑨最初のテーブルに戻る



ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑩ラウンド 1、ラウンド 2 で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。



「ワールド・カフェ」のお作法

- 対話を楽しみましょう！
- 互いの話を聴きあって、広げましょう！
- 感じたことを大切に、思いついたことを、自由に書きましょう！
- 内容は簡潔明瞭に！
- 人の意見を否定しない！
(自分と違う考えをするのには、理由があります。)

今日皆さんが必ず行うこと ⁹⁸

グループ内の全員が意見を
出す

あなたの講演会ではありません
自分だけが話すのではない
どうやったら全員の意見が
出せるのか考え、実践する

本日の検討課題

議題：

防災リーダーの活動とは？

防災リーダーとしてしたいこと

(訓練、研修会、作りたい組織像 など)

防災リーダーの姿

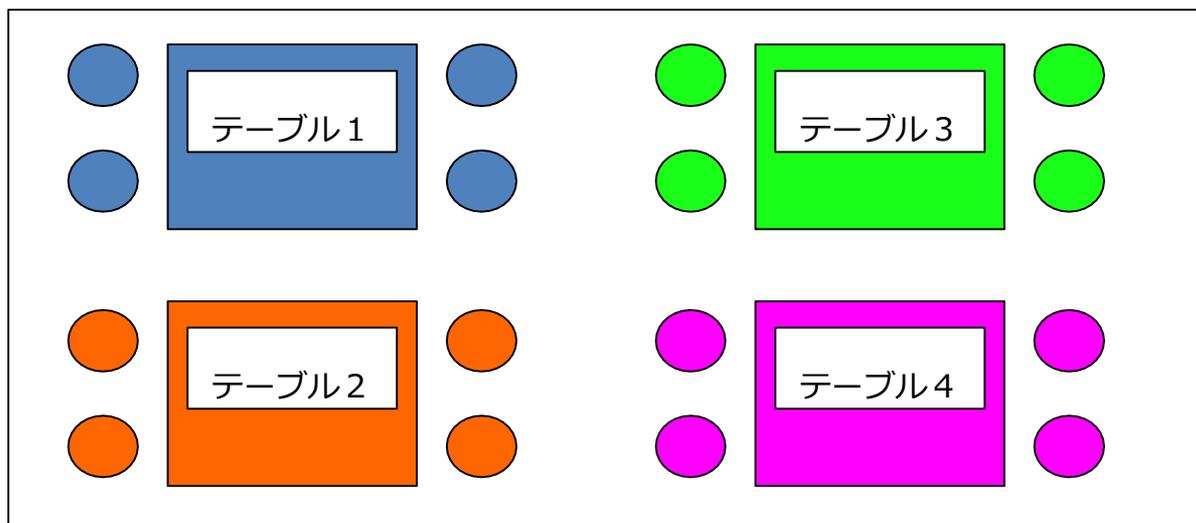
(地域住民全員に顔を知られている など)

用意するもの

- 模造紙
- 筆記用具
- 付箋
- メモ用紙
- あめ

ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ①グループ内で自己紹介
カフェマスターを決めてください



本日の検討課題

議題：

防災リーダーの活動とは？

防災リーダーとしてしたいこと

(訓練、研修会、作りたい組織像 など)

防災リーダーの姿

(地域住民全員に顔を知られている など)

ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ ②議題に関して意見を模造紙に書き込む

議題



意見①

意見②

意見③

意見④

ワールドカフェの流れ【ラウンド①】

- ▶ カフェマスター以外はまとめた意見をメモする

議題

意見①

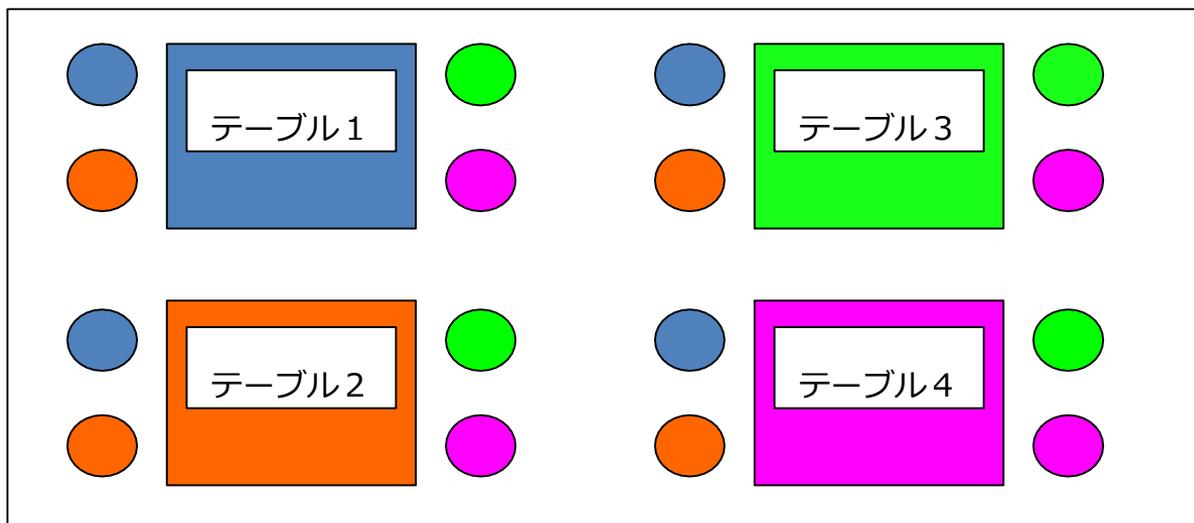
意見②

追加意見



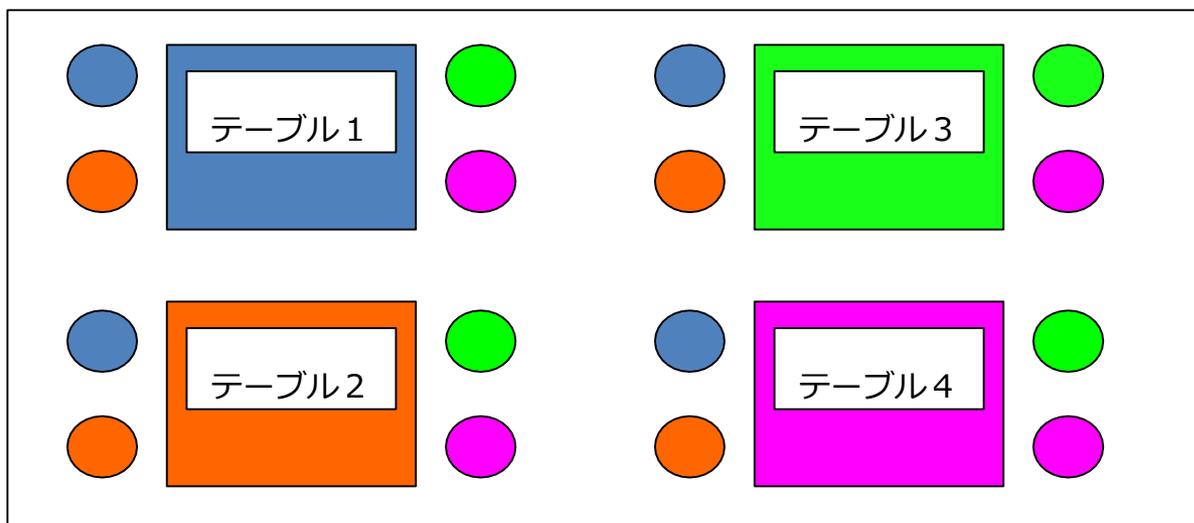
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑤ 「カフェマスター」をテーブルに残して、他の人は、他のテーブルに移動します



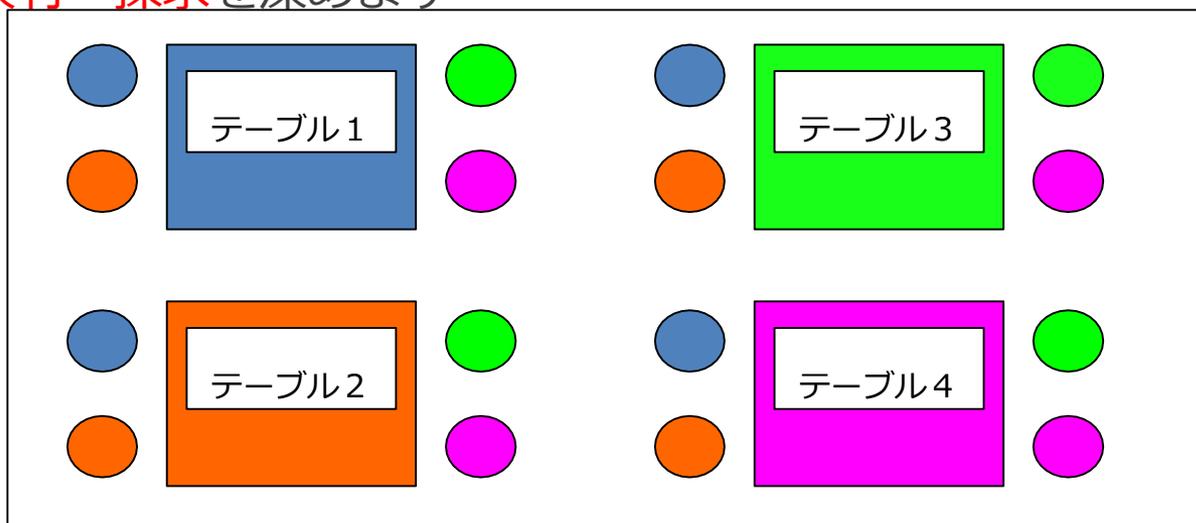
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑥新たにできたグループで簡単な自己紹介をする



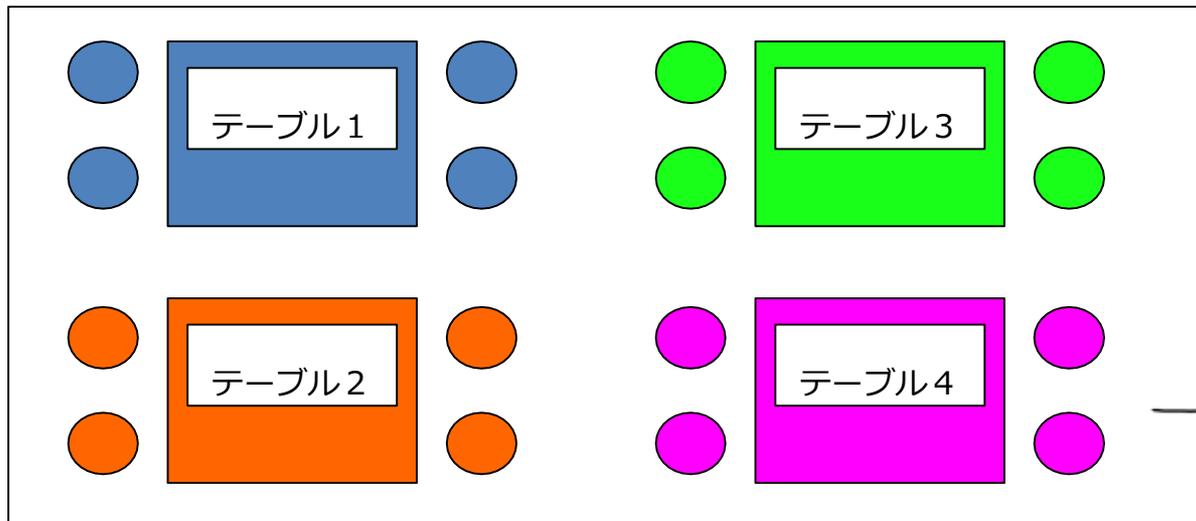
ワールドカフェの流れ【ラウンド②】

⑦「カフェマスター」は、**どんな話があったか**を、そのテーブルに来てくれた人と**共有**し、それを聞いた方も自分の**グループの内容を述べて**、**共有・探求**を深めます



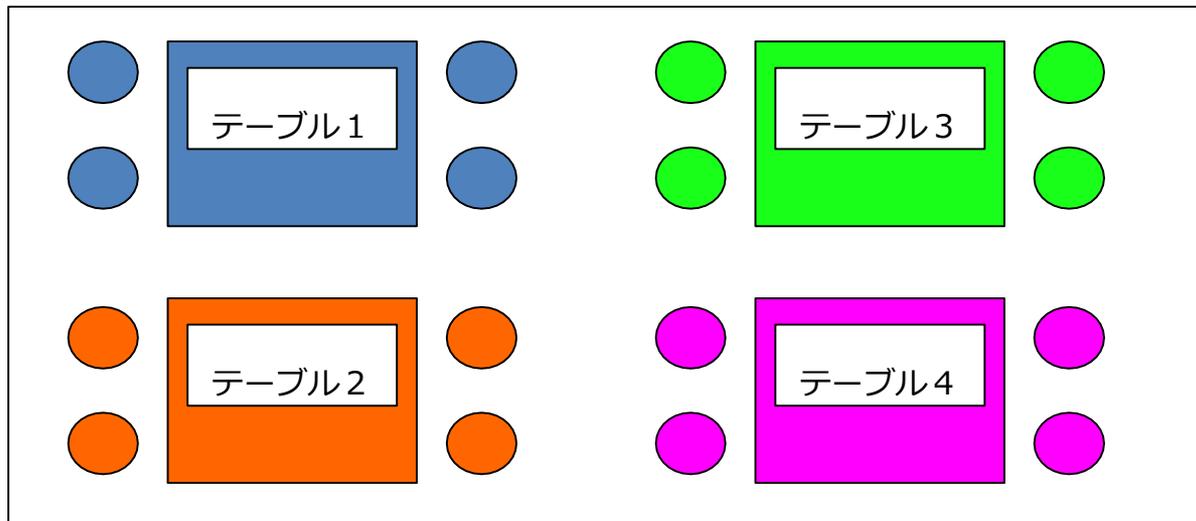
ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑧新たに発見した意見をメモする



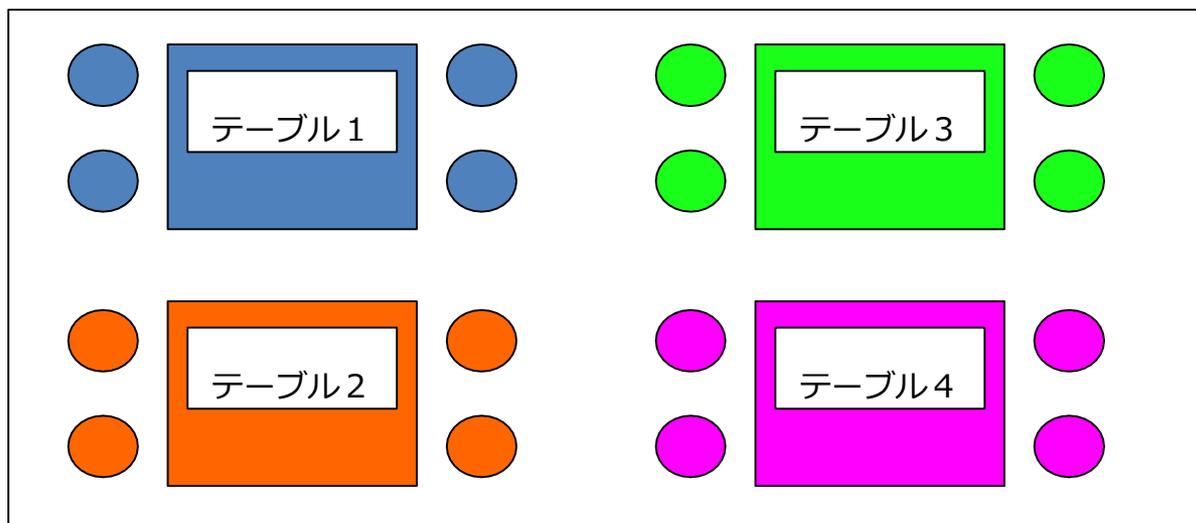
ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑨最初のテーブルに戻る



ワールドカフェの流れ【ラウンド③】

⑩ラウンド 1、ラウンド 2 で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。



本日の検討課題

議題：

防災リーダーの活動とは？

防災リーダーとしてしたいこと

(訓練、研修会、作りたい組織像 など)

防災リーダーの姿

(地域住民全員に顔を知られている など)

協働

同じ目的のために、**対等の立場**で協力して共に働くこと。

長時間ありがとうございました